



給食だより 11月号



ひのしりつひのだいさんしょうがっこう
日野市立日野第三小学校

11月は日野産野菜給食月間

日野市では、野菜の収穫期に合わせて11月を「日野産野菜給食月間」と定めており、特に、子供たちの健全な食生活の実現と心身の成長を促すことを目的として、11月19日は「日野産野菜給食の日」と定めています。これは、日野市食育推進計画の中にも位置付けられており、「地産地消」を促す取り組みとして、給食での日野産野菜利用率の目標値を25%以上と設定している中で、令和3年度では28.3%と達成をしています。また、地元食材での食事づくりを促す取り組みとしては、日野産農産物を活用した学校給食の献立を考える催しとして、日野市内に住む小学4年生から6年生までを対象とした「ひのっ子シェフコンテスト」が毎年開催され、特に、「栄養士・給食調理員が選んだ特別賞」に選ばれた料理については、実際に学校給食で提供するなどの活動を行っています。

地産地消とは…

その地域で生産・栽培したものをその地域で消費することを指します。地産地消の利点としては、いつ、どこで、どんな人がつくったものなのかが明確であるため、購入する人にとって安心できることです。また、生産・栽培された土地で消費されることから、輸送距離が短く燃料の消費も少ないため、輸送中に排出されるガスなども少なくなるなど、環境にも負担をかけないとされています。



感謝の気持ちをもって食事をしましょう …11月23日は勤労感謝の日

私たちの食生活は、食べ物の命や食べ物を育てたり採取したりしてくれた人、食べやすく加工や調理をしてくれた人など、多くの人や物によって支えられ、成り立っています。食事の際は、感謝の気持ちを忘れずに、よく味わってなるべく残さず食べるようにしましょう。

『いただきます』…「私の命をつなぐために生き物の命を『いただきます』」という意味が含まれています。

『ごちそうさま』…漢字で「御馳走様」と書きます。馳走には「走り回る」という意味があり「この食事を作るために食べ物を育てたり、集めたり、料理したりとあちこちに走り回っていただき、ありがとうございました。」という意味が含まれています。

11月の給食目標

感謝の気持ちをもって食べよう

